



日台 新たな懸け橋

JR東十条駅（東京都北区）近くの「ショップリユウリー」。

「玉」が迎えてくれる。台湾の先住民が作るつややかなアクセサリーは独特の雰囲気をもとつ。



台湾にはタイヤル族など複数の先住民が住み、とんぼ玉は装飾品などとして古くから伝わる。特徴的なデザインに加え模様一つ一つに「繁栄」「純真」など意味が

ある。1月に店を開いた。

溝上重幸さん（43）は、妻の小百合さん（42）と

異境の魅力伝える日々

★大倉健太さん（31）は「台湾茶ドットネット」で、常時約30種類の台湾茶葉を売る。調達も貢献できれば」。

山本優、浦田晃之介が担当しました。

台湾産の茶を友人と楽しむ「台湾茶ドットネット」店主の大倉健太さん（横濱市港北区）

る生活を始めた。1999年、渡り、有名な生産者だかイト「先住民ドットネット」を開設。小百合さんも台湾留学中に先住民の工房に通い、とんぼ玉製作を修業した。「とんぼ玉を通じて先住民の文化や生活を知ってほしい」と溝上さんは話す。

溝上、大倉両氏のように趣味が高じ、生活の手段とする「台湾マニア」が増えている。作家の青木由香さん（38）はバックパッカーとして訪れた台湾にはまり、住み着いた。台湾人の特徴などを面白おかしく伝えた著書「奇怪ねー」は現地でベストセラーになった。「台湾の良さを伝えるためにも日本でも普及させたい」。台湾を知れば知るほど、日台の懸け橋としての役割を真剣に受け止める日々だ。

2010年3月16日
日本経済新聞（全国版）
夕刊1面で紹介されました